

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

NPO法人

(ユニット名)

グループホームしいのみ

記入者(管理者)

氏名

村上 光荣

評価完了日

平成 19 年 6 月 20 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月20日

【評価実施概要】

事業所番号	3870102195		
法人名	NPO法人しいのみ		
事業所名	グループホームしいのみ		
所在地	松山市緑町1丁目7-15	(電話) 089-932-7681	
管理者	村上光栄		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月10日	評価確定日	平成19年9月20日

【情報提供票より】 (平成19年6月20日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成13年8月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	7 人	常勤	6人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.0人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	20,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成19年6月20日現在)			
利用者人数	6 名	男性 0 名	女性 6 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	1 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 62 歳	最高 100 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 (あり)・なし	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

系列事業所間の異動もあるが、利用者同士が頻繁に交流されており、職員と顔馴染みになっておられる。職員同士の仲が良く、何でも話し合い支え合っておられ、職員でチームを組み、県内のマラソン大会に出場されている。
 お風呂上がりのアイスクリームを楽しみにされている利用者もおられる。たまには、職員と一緒に近所の温泉にゆったりと浸かることを楽しまれる方もおられる。入浴を嫌がられる方には、無理強いせず、ご本人が入浴したくなるよう、声かけを工夫されている。
 入居以前から行っておられたTV体操や足踏み、にんにく療法等の健康法を継続されている方もおられる。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)

・前回の評価結果を受けて、薬等を利用者の目につきにくい安全な保管場所に移されたり、利用者の機能の低下に伴い、室内や浴槽に手すりを増やされた。

今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)

・職員個々で自己評価項目を分け取り組み、さらに職員全員で内容を検討して作成された。職員は「さりげないケアの必要性や日々のケアの再確認ができた」と話しておられた。

運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)

・運営推進会議時、事業所の取り組み等を説明し、高齢者虐待等についても意見交換をされている。地域の方から「利用者のご家族との一泊旅行を実現されてはどうか」とのご意見があり、前向きに検討されている。

家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)

・ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりを伝えておられる。ブログで、事業所全体の様子や取り組みをリアルタイムにお知らせし、さらに月に1度、ブログの内容を印刷してご家族に送付されている。

日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)

・調査訪問時、利用者や職員がお隣に回覧板を回しておられた。近所の方から依頼があり、職員が公民館で介護について講演をされた。その後、事業所を見学に来られた方もおられた。地域の専門学校生や高校生の介護実習を受け入れておられる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域の中で利用者個々が生活を広げていける取組みのための理念を見直し、どう支援していくか具体的にわかりやすいものにする様、心掛けている。		
			(外部評価)		
			「ゴソゴソの自由」という理念に基づき、地域社会との自然なつながりを大切にし、地域に開かれた事業所を目指して取り組んでおられる。		
2	2	理念の共有と日々の取組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			見やすい場所に掲示し職員全員で理念を共有し、常に理念の実践に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			管理者は、職員に日々のケアの中で、理念に沿った助言をされている。月例会時、理念を念頭に置いて実践することの大切さを再確認されている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族にも文章・口頭で説明、又、地域の方々には運営推進会議の場を利用し理解して頂くよう取り組んでいる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 職員一同、隣近所の人達への挨拶などでコミュニケーションを取り、顔なじみの方々を増やし気軽に立ち寄ってもらえるような日常的な付き合いが出来るよう努めている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 地域の行事、活動には積極的に参加し、地元の人々と交流するよう努めている。 (外部評価) 調査訪問時、利用者と職員がお隣に回覧板を回しておられた。利用者は、児童会や地区の運動会、公民館の催し物に参加し、楽しく交流されている。近所の方から依頼があり、職員が公民館で介護について講演をされた。その後、事業所を見学に来られた方もおられる。専門学校生や高校生の介護実習を受け入れておられる。		又、事業所では、近くの幼稚園や公民館の清掃ボランティアに、利用者と共に出かけたいと考えておられた。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 地域貢献できることはないか、常に話し合いを行っている。		看板等に気軽に相談・声掛けしてもらえる様にアピールしているが、まだ相談に来られる方は少ないもっと地域の人達にわかる様、説明する機会が必要と思われる
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 職員全員、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、改善する項目があれば直ちに対応しサービスの質が向上する様、取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価作成は、職員個々で項目を分け取り組み、さらに職員全員で内容を検討して作成された。「さりげないケアの必要性や日々のケアの再確認ができた」と話しておられた。前回の評価結果を受けて、薬等を利用者の目につきにくい安全な保管場所に移されたり、利用者の機能の低下に伴い、室内や浴槽に手すりを増やされた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			運営推進会議では、評価への取り組み・状況等につ いて報告や話し合いを行い、そこでの意見を参考にし サービスの質が向上する様、取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			運営推進会議時、事業所の取り組み等を説明し、高齢 者虐待等についても意見交換をされている。地域の方 から「利用者のご家族との一泊旅行を実現されてはど うか」とのご意見があり、検討されている。		また、地域のいろいろな方達に会議に出席していただ き、様々な意見をうかがう中で、会議内容を充実して いくことを目指しておられた。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			依頼があれば、市町村担当とともにサービスの質の 向上に取り組んでいる。		
			(外部評価)		
			地域包括支援センターの方が、事業所を見学に来られ た。市主催のサマーボランティアに応募された。		積極的にには行き来する機会を作っていないので、今 後、市町村担当とともにサービスの質の向上に取り 組む機会を増やしたい
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			職員全員で、地域権利擁護事業や成年後見人制度につ いて、講師を迎え勉強する機会を持っている。		
					現在は必要とされる利用者はいないが、今後必要とさ れば、それらを活用できるよう支援する
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			職員全員が、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会 を持ち、虐待が見過ごされることが無いよう注意を払 い防止に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約・解約する際は契約書に分かりやすく示し、かつ十分に説明し理解・納得を得ている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の意見・不満・苦情がある場合は速やかに検討し、それらを運営に反映させるよう努めている。		外部者を交えての話し合う機会は今まで設けていなかったため、今後検討したい。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 月に一度、手紙や写真などで暮らしぶりや健康状態を報告している。また、変化が生じた場合はすぐに電話報告をしている。さらに、常時ブログを公開している。		
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりを伝えておられる。ブログで、事業所全体の様子や取り組みをリアルタイムにお知らせし、さらに月に1度、ブログの内容を印刷してご家族に送付されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 苦情用紙を作っている。また家族会がある度、家族の意見を出しやすい声掛けを行っている。苦情があった場合は速やかに対策案を検討し運営に反映させている。		
			(外部評価) ささいなことでも気軽に言っただけのよう、ご家族に働きかけておられる。		さらに今後、ご家族同士の交流の場を増やす等、ご家族が意見を出しやすくなるような工夫を検討されていた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 食事会など開き、堅苦しくない場を設け、意見や提案を聞き運営に反映させている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 利用者の状態を常に把握し、状態によれば早出・遅出などを設け状態に応じた勤務ローテーションを組んでいる。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 利用者は、馴染みの職員に支援を受けられるよう異動は最小限に抑える努力をし、異動があった場合でもこまめに顔見せを行うことで、利用者のダメージを防ぐ配慮をしている。 (外部評価) 系列事業所間の異動もあるが、利用者同士が頻繁に交流されており、職員と顔馴染みになっておられる。職員同士の仲が良く、何でも話し合い支え合っておられ、職員でチームを組み、県内のマラソン大会に出場されている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 職員の段階に応じた研修に積極的に参加してもらい、その後、ホーム内でも勉強会を開いている。 (外部評価) 外部研修に積極的に参加されており、介護計画やリスクマネジメント等、研修内容を日々の実践につなげておられる。月例会では、勉強会を行っておられる。職員同士で気付いたことを助言し合い、切磋琢磨されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 職員は、地域の同業者と交流する機会を持ち、勉強会を行いサービスの質の向上に役立っている。		
			(外部評価) 地域の同業者との勉強会や相互評価等に積極的に取り組み、他事業所との交流を通じて、示唆されたことや気付き等を日々の実践に役立てておられる。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 職員相互で、食事会やレクリエーションなどで親睦を深め、個々の仕事の悩みや相談に応じ、なるべくストレスを軽減できるよう取り組んでいる。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員全員の努力・実績・勤務状況を把握し、評価すべき事は評価を行い、向上心を持って働けるように努めている。		
<p>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</p> <p>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</p>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 十分に本人の話を傾聴し、本人の困っていること、不安なこと、求めていることを理解出来るよう努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 十分に家族等と話し合い、困っていること、不安なこと、求めていることを理解できるよう努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談を受けた時、本人と家族等がまず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた助言・相談を行い、対応に努めている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人が安心できるよう、何度か面談をしたり場合によっては当ホームのデイやお試ステイを取り入れ、徐々に雰囲気に馴染めるよう工夫している。 (外部評価) ご本人やご家族が見学に来られたり、管理者がご自宅や入院先に面談にうかがっておられる。事業所でのショートステイを利用後、入居された方もおられる。入居間もない方には、心細くならないよう配慮しておられた。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 職員は、介護しているという上の立場に立つ事なく、職員の独りよがりのケアにならないよう、本人と共に過ごし支え合う対等な関係作りに努めている。 (外部評価) 職員は、野菜の切り方や洗濯物の干し方、物を大切にすること等、利用者が長年培って来られた折節の生活の知恵や浴衣の着付け等について教えてもらっている。また、利用者が他の方の洋服の裾上げをしてくれることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 本人を支えている家族と共に、一緒に本人を支えている関係を築いく様努力している。		遠方にいる家族が多いため、どうしても「任せられ感」があるが、今後は積極的に行事等に参加して頂けるよう理解して頂き、一緒に本人を支えていく関係の場を多くしたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 行事・催し物の際には、なるべく参加して頂けるよう、ご案内・段取りをしている。		遠方の家族が多いが、本人が家族と疎遠にならないよう、より積極的な家族への呼びかけを行いたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の記憶が残っているもの・現存するものに関しては、可能な限り関係が途切れないよう支援している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 利用者同志の関係を把握し、トラブルが生じた場合は、さりげなく職員が間に立ち、利用者同士の関係が円滑に行くよう支援しているが、基本的には利用者個々のペースに任せている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 契約が終了しても、利用者・家族との関係を断ち切る事なく、相談がある場合、適宜対応している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) ホームが職場であると思っている利用者には、意向に応じた対応をし、役割を見つけ有用感が得られるよう支援している。			
		(外部評価) 職員は、利用者のそのままの気持ちをまず受け入れ、汲み取るよう心がけておられる。センター方式のアセスメントシートやフェイスシート等に、ご本人の思いや意向を書き込み、情報を職員で共有し、支援につなげておられる。			
34		(自己評価) これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴を入所時に把握し、その人らしい暮らしが出来るよう支援している。		
35		(自己評価) 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	それぞれの生活リズムを崩さないよう個々に応じた対応をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 職員全員で話し合い計画書を作成し、家族へは作成時に相談・報告を行い意見を募っている。			
		(外部評価) ご本人の思いや希望を大切に、介護計画を作成されている。遠くにお住まいのご家族には、原案の段階でファックス等でお知らせして、意見をうかがうようにされている。			

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			利用者の心身の状態に応じて、その都度計画の見直しを行っている。		
			(外部評価)		
			介護計画は、1～2ヶ月毎に見直しをされている。状況が変化した場合は、その都度検討し、見直しをするようになっている。		さらに、利用者の日々の変化等の記録を介護計画に反映する仕組みについて、今後も工夫を重ねていかれることが期待される。
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			日々の状態や変化等は介護日誌に記録しているが、見にくい部分がある。		変化をより具体的に知るために、介護日誌を新しく検討・作成中である。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			希望に応じて通院、送迎等細かな気配りにも対応出来る様になっている。ショートやデイサービス等その時の要望に応じて可能な限り対応する様支援している。		
			(外部評価)		
			ご本人やご家族の要望に柔軟に対応されている。美容院や図書館、温泉等に職員が同行されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域との交流を保ち、各行政機関とも協力しあって支援している。		
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 障害を持った利用者もいるため、福祉センターや他のサービス事業者とも連携を取り合い支援している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 現在は必要とされる利用者がいないため活用していないが、必要になった場合、円滑に協働できるよう努めている。		
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 毎日往診に来て頂いている。また、本人の希望や必要に応じ通院している。 (外部評価) 調査訪問時、協力医療機関の医師が往診に來られ、気軽に相談に応じておられる様子がうかがえた。		
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 主治医の紹介により、必要に応じて対応する。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 小さな事でも報告し、利用者の日常の健康管理を行っている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院した場合は、情報交換・相談を行い早期退院に努めている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 看取りの指針を作成し、入居時及びその段階に応じて説明・相談を行っている。 (外部評価) 入居時に、事業所の「看取りの指針」に基づき、重度化した場合や終末期のあり方について説明をされ、その後もご本人やご家族の気持ちの変化を聞き取りながら柔軟に対応されている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医、家族、職員間でこまめに話し合い支援し、今後の変化にも備えている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 関係者等とよく話し合い情報交換を行い、ダメージを防ぐことに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			利用者の対応については馴れ合いにならないよう注意し、また情報や記録に関しては取り扱いに十分な注意を払っている。		
			(外部評価)		
			職員は、利用者の居室に入室の際は必ず声かけされている。入浴時にも礼節を欠くことのないよう心がけておられる。ご本人が出来そうなことは一人で出来るよう、さりげなく見守り、不必要な声かけを慎み、誇りや自信につながるよう支援されている。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			全ての自己決定には限界があるが、可能な限り本人の意思を尊重し支援を行っている。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			時間に余裕のない時は業務的になることがあるが、可能な限り一人一人のペースに合わせて寄り添っている。		利用者第一の、より良い支援を行っていく。
			(外部評価)		
			調査訪問時の昼下がりに、居室で昼寝される方、縫い物をされる方、居間で職員と談笑される方等、利用者は思い思いに過ごされていた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) おしゃれな利用者には、髪を染めたり、スカーフを巻いたりし、時にはお化粧品も楽しんでもらっている。美容院に行く機会が、以前より増えている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 個々の出来る事を大切にしながら、準備や片付けをしてもらい、楽しく食事が出来る雰囲気作りを心がけている。 (外部評価) 昼食のそうめんのだしの分量を、職員と利用者が相談しながら準備しておられた。料理の下ごしらえや配膳、食器洗い等、楽しそうに立ち働いている方もおられた。高校野球を話題にしながら、笑いの絶えない和やかな食事風景がうかがえた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 可能な限り、本人と一緒に買物に行ったり嗜好品を提供し、一人ひとりの好みに合わせている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) おむつは可能な限り使用しないようにしているが、心身の状態や体調に応じて使用している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			設定曜日以外でも、本人の希望や気分に応じて、ゆったりとした支援をしている。		
			(外部評価)		
			お風呂上がりのアイスクリームを楽しみにされている利用者もおられる。たまには、職員と一緒に近所の温泉にゆったりと浸かることを楽しめる方もおられる。入浴を嫌がられる方には、無理強いせず、ご本人が入浴したくなるよう、声かけを工夫されている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			特に、消灯時間や起床時間を定めることなく、一人ひとりの希望や状況に応じて支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			本人のしたい事や役割を尊重し、天候や体調に応じて個々の楽しみや気晴らしの支援を行っている。		
			(外部評価)		
			掃除や洗濯、電話番等、利用者それぞれが自然に体で覚えていることを役割として行っておられる。一人ひとりのこれまでの人生を大切に、読経、読書、繕い物等、利用者個々の力を発揮できるよう支援されている。又、入居以前から行っていたTV体操や足踏み、にんにく療法等の健康法を継続されている方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			希望や力に応じて、可能な限り支援している。お金の管理のむずかしい方でも、レジでの支払いなど、職員見守りの元、本人に行ってもらっている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は、利用者の状態を見ながら毎日出掛けられるようにしている。		
			(外部評価)		
			いつでも散歩に出かけられるように、玄関には利用者の帽子が重ねられていた。時には、利用者の提案でカラオケや居酒屋に出かけることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			行ってみたい場所や普段行けない場所への外出希望は出来るだけ取り入れている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望があれば、いつでも利用してもらっている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			訪問は気軽に来てもらえているが、家族等は短時間で帰ってしまうことが多い。		本人の居室でゆっくりして頂くよう声掛けをし、プライベートな事など話しやすい雰囲気を作る。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員全員が身体拘束の意義を把握し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 鍵は、夜間及び全員外出時以外は掛けていない。 (外部評価) 日中、玄関は施錠しておらず、自由に出入りできるようになっている。気ままに一人で出かけた方に対しては、職員がさりげなくご本人に気付かれないよう付き添うようにされている。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) みんなが過ごす談話室は、常に職員1名が離れないようにしており、利用者の行動をさりげなく把握している。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 薬や洗剤等の設置場所に関して、前回の評価で指摘があり、早急に改善し危険を防いでいる。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) マニュアルを作成し事故防止に取り組んでいるが、マニュアルだけでは不安なことがある。		一人ひとりの状態に合わせ頻りに話し合い、職員のスキルアップにも取り組んでいきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急時の対応マニュアルは、常に目を通してはいるが、実際の応急手当や初期対応が、全て出来るかどうか自信がない。		定期的に職員同士がモデルになる等して実践的な訓練を積み重ねていく。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 推進会議等で地域の人達と交流を持ち、協力が得られるよう働きかけている。 (外部評価) 年2回、避難訓練を実施されている。運営推進会議時に、事業所の「災害マニュアル」を配布し、地域の方達に協力を依頼しておられる。防災グッズを用意されている。		定期的に、地域の人達を交えて全員で避難訓練をする必要がある。 運営推進会議時に、地域の人達を交えての避難訓練をお願いしたところ、快く承諾してくださり、実施の予定となっている。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) リスク対応に関して職員は十分把握しているが、家族等によっては説明時、十分な理解が得られない時がある。		何度も説明・話し合いを行い家族等の理解を得る。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 小さな変化や異常のサインを見逃さないよう、全職員が注意し記録・申し送りをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 主治医から個別の服薬説明書をもっており、全職員が承知の上で支援し、症状の変化確認している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 水分を多めに摂ったり、便秘解消運動、普段からの散歩、食事等に気を配り、それでも解消されない時は医師に相談するなど対処している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 歯みがきの声かけを行い、自分で出来ない人には介助を行っている。また、口腔ケアセンターの指導も受けている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量を記録し、栄養及び水分の摂取量は、おおむね把握出来ている。 (外部評価) 食が進まない方には、ご本人の好物や喉ごしの良いものを用意されたり、時に、外食することもある。食卓の上にやかんを置き、いつでも水分補給が出来るようにされている。ご自分から水分を摂ることがあまりないような方には、努めて声かけをされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 主治医の指導の下、感染症対策マニュアルがあり実行している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 台所は常に清潔に保ち、冷蔵庫の温度管理を行い、食品は賞味期限まで消費している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 前庭は開放的な空間を作り、気候のいい季節にはドアを開けて、開かれた雰囲気作りを心がけている。また、手すり等の安全器具を設置している。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 民家を利用しているので家庭的な雰囲気ではあるも、広さ的に限界がある。 (外部評価) 民家を改修された事業所で、共用空間の広さに制限はあるが、利用者にとって馴染みの雰囲気作りとなっている。夏の全国高校野球のトーナメント表を貼り、利用者に勝敗を聞き、職員が書き込まれていた。		皆が集まる談話室は、なるべく大きな家具等置かないようにし、広さを確保している。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 民家なのでスペースに限りはあるが、それぞれに好きな場所や席で過ごさせている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			入所時に、それまで使っていた物を自由に持ってきてもらっている。		
			(外部評価)		
			居室には、タンスや鏡台、扇風機やお気に入りのぬいぐるみ等を持ち込まれている。ご本人のお誕生会の写真を飾ったり、お位牌や遺影を祀っている方もおられた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			室内の換気は常時行われている。また冷暖房の温度調節は離れた場所に温度計を置き、こまめに確認している。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			歩行できるスペースを確保し、階段・トイレ・浴室等には手すりを設置している。		民家なのでスペースに限りがあり、歩行の障害になる物もあるため、見直しを行いたい。
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			職員全員が利用者の生活レベルを把握しており、出来ること、出来ないことを見極め自立に向けた支援を心がけている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			街中の為、庭の狭さや外周りを有効活用するスペースはあまりないが、ベンチを置いたり、花を置いたりして楽しんでもらっている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者一人ひとりとのコミュニケーションを心がけ、本人の思いや願いを把握している。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	職員は、業務の合間に利用者とは出来るだけ多くのコミュニケーションを取っている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりのペースを尊重し束縛のない自由な暮らしが出来るよう支援している。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の喜怒哀楽の豊かな感情が見られている。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者がホームの中だけで過ごさないよう、散歩、買物、ドライブなどへの声かけを積極的に行っている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者の体調変化に常に注意し、必要に応じて主治医と連携が取れている。又、ホーム内の安全対策にも常に留意している。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	出来る事を大切に、必要な事を支援し自信を持って暮らしてもらっている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	家族との連絡は出来るだけ密に取り、家族の思いや意見を傾聴しているが、家族にとってはどうしても「お世話になっている感」が否めないようだ。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	閉ざされた環境ではなく、アットホームな雰囲気作りを心がけ、気軽に立ち寄ってもらえるように配慮している。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	地域の行事や催し物には出来るだけ参加しているが、もっと深く理解してもらえよう働きかけたい。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全職員がそれぞれに利用者に対する愛情を持ち、職員同士もよくコミュニケーションが図られている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	高齢、及び認知症のため、家族等が気になったり帰宅したい願望が、時に見られている。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	家庭的な温かい介護方針を理解してもらっている。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

当ホームは、利用者の認知症状の進行や身体能力の低下を防止・軽減するために、自身で出来る事はなるべく行ってもらっており、利用者一人ひとりのレベルやペースに合わせて支援している。
 又、利用者同士の世界を尊重し、職員は不必要な介入を極力避け、「利用者が主役のホーム作り」を常に心がけている。